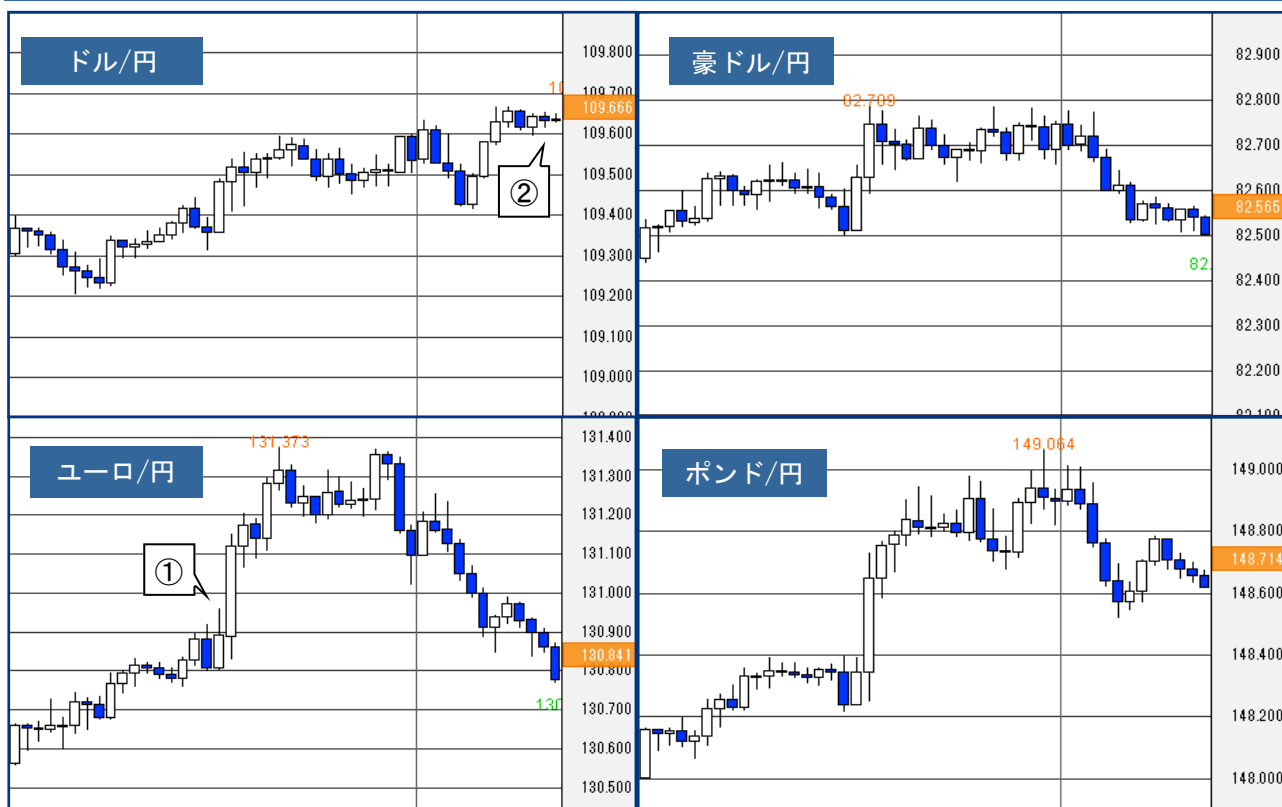


5月15日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

消費の勢いは？米4月小売売上高に注目

14日(月)の為替相場



期間：14日(月)午前7時00分～15日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

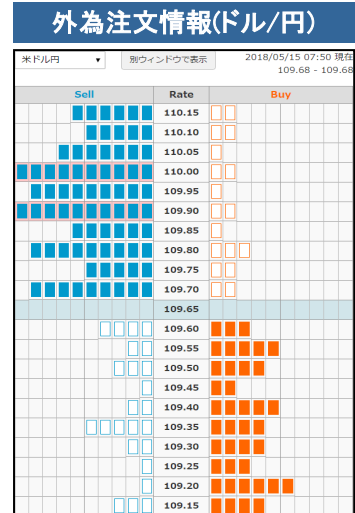
①

欧州中央銀行(ECB)理事会メンバーのビルロワ仏中銀総裁が「ECBは最初の利上げのタイミングに関する新たなガイダンスを公表する可能性がある」と述べた事を受けてユーロが上昇。なお、ECBの金利に関する現在のガイダンスは、「量的緩和政策を終えても『相当の期間』は現行水準で据え置く」となっている。

②

米10年債利回りが3.00%を再び突破。トランプ米大統領が、米政府の制裁措置によって主力事業が停止に追い込まれている中国通信機器大手の中興通信(ZTE)への制裁緩和を示唆した事で米中貿易摩擦への懸念が和らぎ安全資産の米国債が売られた。なお、トランプ米大統領はZTEについて「速やかに事業に戻る方策を同社に示すため、習中国国家主席と協力している」とツイート。ただ、ロス商務長官はその後、「米中間の貿易に関するギャップは依然として広い」との認識を示した。

14日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22865.86	6135.297	3174.032	7710.98	12977.71
△107.38	△19.110	△10.769	▼13.57	▼23.53
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24899.41	0.0530%	2.771%	1.471%	0.611%
△68.24	△0.0060	▼0.009	△0.028	△0.052
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5475%	3.0024%	70.96	1318.20	
△0.0126	△0.0329	△0.26	▼2.50	



本日から明朝の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.100-110.300	130.100-131.500	82.000-83.100	148.000-149.500

【ドル/円】

昨日のドル/円は小幅に上昇した。手掛かり材料難ではあったが、米長期金利の上昇を背景に109.60円台まで上値を伸ばした。米10年債利回りはNY市場終盤に3%を再び超えており、ここからさらに上昇するのかが本日の焦点となる。そうした中、最も注目すべきイベントは米4月小売売上高だろう。市場予想は前月比+0.3%で、3月の+0.6%から減速する見込みとなっている。ただ、変動が大きい自動車および関連部品を除いた4月の売上高は前月比+0.5%と、3月の+0.2%から伸びが加速する見通しだ。雇用増や減税の効果によって消費が勢いを増した事が確認できれば米長期金利の押し上げ要因となり、ドル/円の110円台乗せも見えてくるだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/15(火)	10:30	○	(豪) RBA議事録	—	—
	11:00		(中国) 4月鉱工業生産(前年比)	+6.0%	+6.4%
	15:00	◎	(独) 1-3月期GDP・速報(季調前:前年比)	+2.3%	+1.7%
	17:30		(英) 4月失業者数	+1.16万人	—
	17:30		(英) 4月失業率	2.4%	—
	17:30	◎	(英) 1-3月週平均賃金(前年比)	+2.8%	+2.6%
	18:00	○	(独) 5月ZEW景気期待指数	-8.2	-8.2
	18:00	○	(ユーロ圏) 3月鉱工業生産(前月比)	-0.8%	+0.7%
	21:30	○	(米) 5月NY連銀製造業景況指数	15.80	15.00
	21:30	◎	(米) 4月小売売上高(前月比)	+0.6%	+0.3%
	21:30	◎	(米) 4月小売売上高(前月比:除自動車)	+0.2%	+0.5%
	23:00		(米) 3月企業在庫(前月比)	+0.6%	+0.1%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。